

## ～ 6月議会の概要と私の対応 ～

6月議会は6月8日から18日まで開かれ、全ての議案が可決されました。一般会計補正予算の概要は下記の通りです。

### ◎一般会計補正予算（7,528万円）の目玉事業

●水道料金軽減事業 2,900万円  
コロナによる生活支援のため水道料基本料金の4か月分を減免する。一般家庭（10m<sup>3</sup>以下）の場合、6,880円の減免となる。

【財源】国（コロナ感染対応地方創生臨時）交付金

●ハーブセンターのトイレ改修 1,800万円  
多くの利用者のあるハーブセンターのトイレをコロナ感染防止を図るため改修する。

【財源】国（コロナ感染対応地方創生臨時）交付金

●防災活動支援事業 462万円  
災害時の避難所での電源確保を図るため、ソーラーパネル式蓄電池セットを10台購入する。

【財源】国（コロナ感染対応地方創生臨時）交付金

●感染防止配慮型レジシステム導入事業 70万円  
美術館の会計レジが故障している。部品がないため、キャッシュレスのコロナ感染防止対応・電子決済対応のレジシステムを導入する。

【財源】国（コロナ感染対応地方創生臨時）交付金

●移住PR（宣伝）事業 55万円  
abn長野朝日放送の最優秀賞に輝いた「池田町移住コマーシャル」を東京などの都会で1か月間、動画配信し、移住に役立てる。

【財源】国（コロナ感染対応地方創生臨時）交付金

●子育て世帯生活支援特別給付金事業 925万円  
コロナで暮らしが厳しくなっている子育て世帯に児童1人あたり5万円を支給する。

対象は児童手当・特別児童扶養手当の受給者で住民税均等割非課税者及び同等と認めらる人

【財源】県交付金

### ◎一般会計補正予算案に対する修正動議

美術館のレジシステム導入事業費を予算案から削除する修正動議を下記の理由により、私も含む4人で提出した。賛成少数で否決された。

<提出理由>

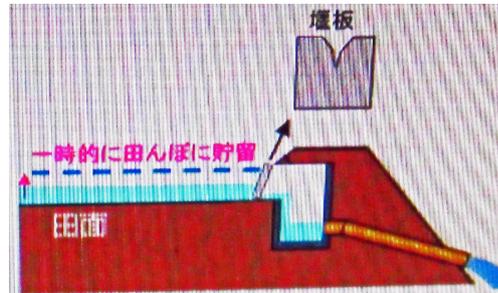
- ・美術館の方向性が決まっていなかったことでのレジシステム導入は町民の理解が得られない。
- ・コロナ対応の国交付金は町民への直接的な生活支援を重点に使うべきである。

## 《私の一般質問と町の答弁》

### 1. 水田の貯水機能（田んぼダム）を活かした水害対策を

国は、多面的機能支払い交付金事業資源向上支払い（共同）の水田面積の50%以上の水田で田んぼダムに取り組みれば、10a当たり300円を加算している。田んぼダムの取り組みは内川などの内水氾濫や湛水被害の低減に役立つ。町は農家の皆さんと連携して、田んぼダムに取り組みないか。

<答>多面的機能支払い交付金事業地区の代表会議で田んぼダム事業の内容を説明し、地区での取り組みを検討いただく。



田んぼダムのイメージ  
大雨予想時に水田排水部の堰板をはめ、水路・河川の水位を急上昇を抑え、下流域の湛水被害を低減する。  
(断面図)

### 2. 池田工業高校を含む高校再編について

長野県教育委員会から池田工業高校（以降、池工）・穂高商業高校・南安曇農業高校を「総合技術高校」として統合する案が示され、論議が始まった。

池工は池田町にはなくてはならない高校である。統合されれば、町から池工がなくなる恐れもある。池工存続にむけた町長の考えは。

<答>町民の皆さまの意見を聴く場を複数回開催し、地域として意見を集約していく。また、安曇野市2校の動向を注視しながら検討していく。

### 3. 水害時の避難対策について

水害時の各家庭避難先を自主防災会や町が把握するアンケート調査の実施を。

<答>アンケートを行い、その結果を踏まえ避難所ごとの必要な調整をしていきたい。

### 4. ハーブセンター東側（ハーブガーデン・ガラス温室など）の将来ビジョンと管理について

ハーブセンター東側は町の管理となり、販売行為も始まった。町は東側の将来ビジョンを示し、町民の意見を聞く意見交換会の開催を。また、東側の管理も西側と同様な指定管理者制度の早期導入を。

<答>将来ビジョンは町のホームページで示し、意見も聴取する。指定管理者制度導入は検討する。